



24Hフルタイム工場 オープニングにあたって

2010年からの諸活動のマイルストーン
自信と確信をもって、継続的な進化を

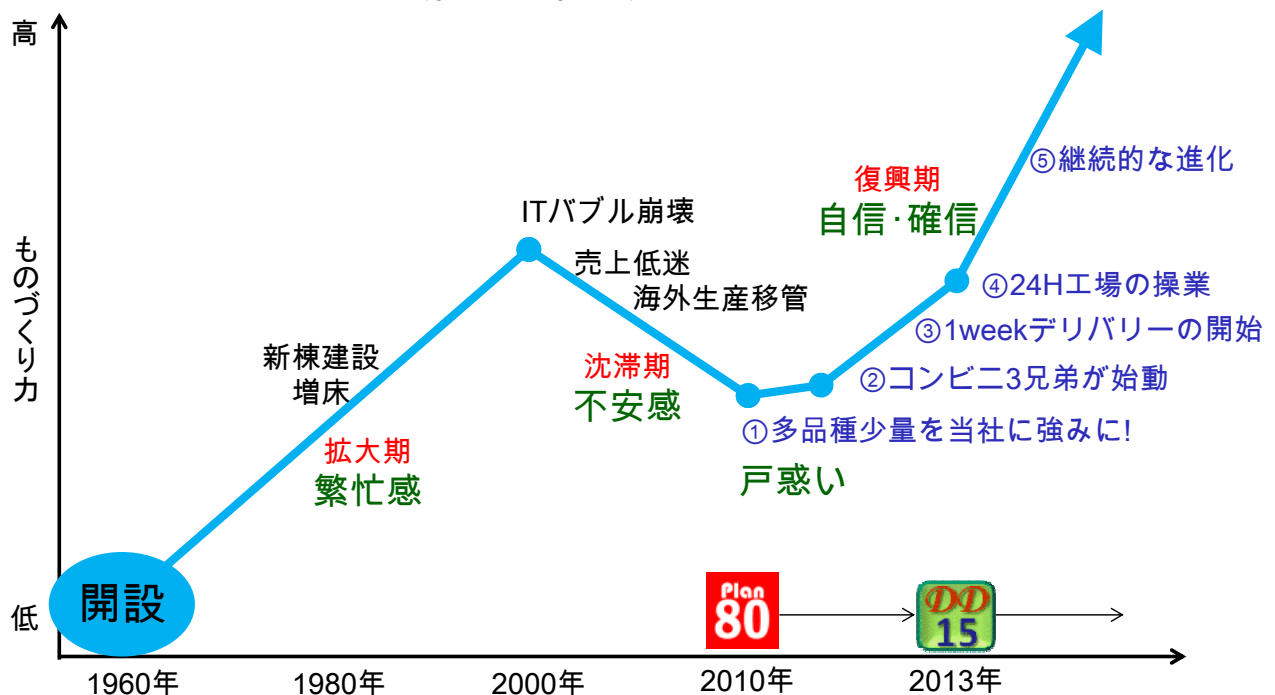
2014年4月14日
本多通信工業株式会社
代表取締役社長 佐谷 紳一郎

HTK 本多通信工業



松本工場の歩み

2010年から多品種少量にフォーカスした活動を展開
24Hフルタイム工場の操業開始は“復興のマイルストーン”



HTK 本多通信工業



①多品種少量を当社の強みに 2010年

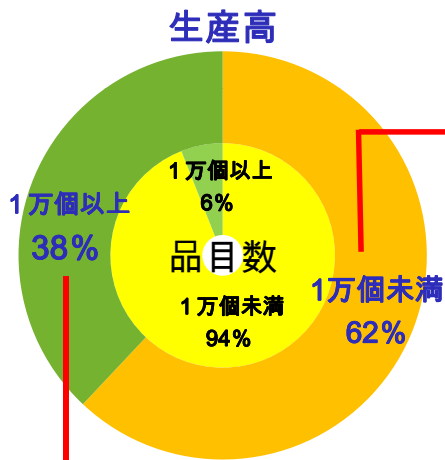
多品種少量品をコンビニのようにお届けできる拠点になろう

松本工場(本多通信工業、安曇野本多通信工業)



得意技を磨き、国内で残る

国内生産(55%)
多品種少量の
コンビニ拠点



深圳工場(深圳本多通信技術有限公司)

機動力を高め、世界で戦う

海外生産(45%)
中量品の
一気通貫生産拠点



②コンビニ3兄弟が始動 2011年

3つの取組みで多品種少量コンビニを実現しよう

多品種少量だから、在庫が多い/納期が長い/人手が掛かる

①サプライチェーン最適化	②社内業務の高速化	③新生産技術の導入
<p>延び切ったSCをコンパクト化</p> <p>内製化 近在化 海外現地調達 複数工程統合化</p>	<p>業務フロー全体のムダ取り</p> <p>受注～納入までが見える化 停滞時間の発見 複雑業務の発見 情報バケツリレー 業務ロスの徹底排除</p>	<p>多関節ロボットなどの活用</p>

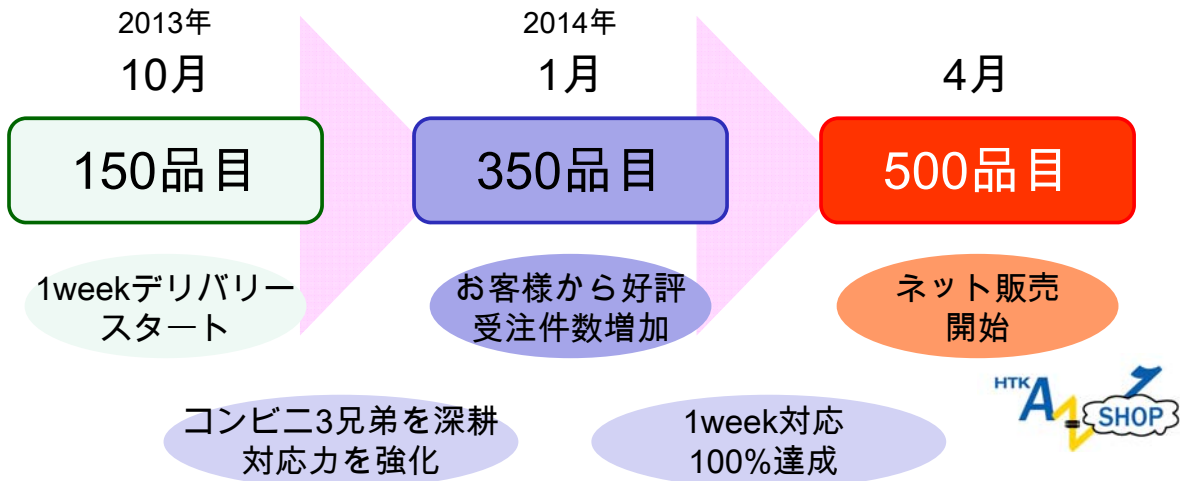
多品種少量だけど、在庫が少ない/納期が早い/人手も掛からない



③ 1weekデリバリーの開始 2013年

コンビニ3兄弟の成果を結集し、短納期サービスを開始
HTKの“看板”を目指して品目と内容を拡充中

1weekデリバリーの進化



HTK 本多通信工業



④ 24Hフルタイム工場の操業 2014年

組立ロボットを24時間フル活用できる体制に整備
=2010年からの諸活動のマイルストーン=

【概要】

- 建屋面積 : 2,576m²
- 改装床面積 : 410m²
- 主要設備 : 多関節ロボット12台 ⇒ 20台(14年度)
- 主要生産商品 : 4シリーズ 10品目 ⇒ 20シリーズ700品目(15年度)

投資額
約3億円



夜間無人稼働



手作業からロボットへ

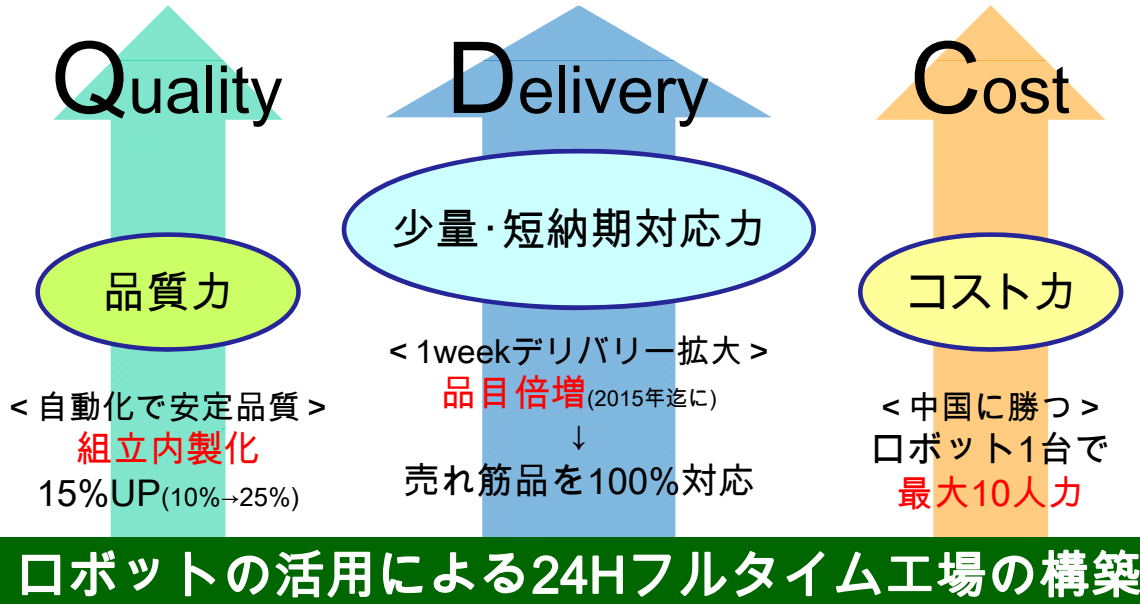
HTK 本多通信工業



④ 24Hフルタイム工場の操業 2014年

DQCそれぞれをワンランクアップさせ、
お客様価値の向上を図る

【狙い】



HTK 本多通信工業



⑤ 継続的な進化 2014年～

自信と確信を原動力に、特徴と魅力ある松本工場へ

【目指す姿】

緑に包まれた業界No.1の多品種少量工場

例えば...製品在庫ゼロ、全品目短納期etc.



ヒト＆ロボット
協働セルの導入

段取り替え時間
の短縮

新技術による
部品の1week対応

新棟建設

レイアウトの最適化

etc.

HTK 本多通信工業